Kodak Color Control Patches

© Kodak, 2007 TM: Kodak

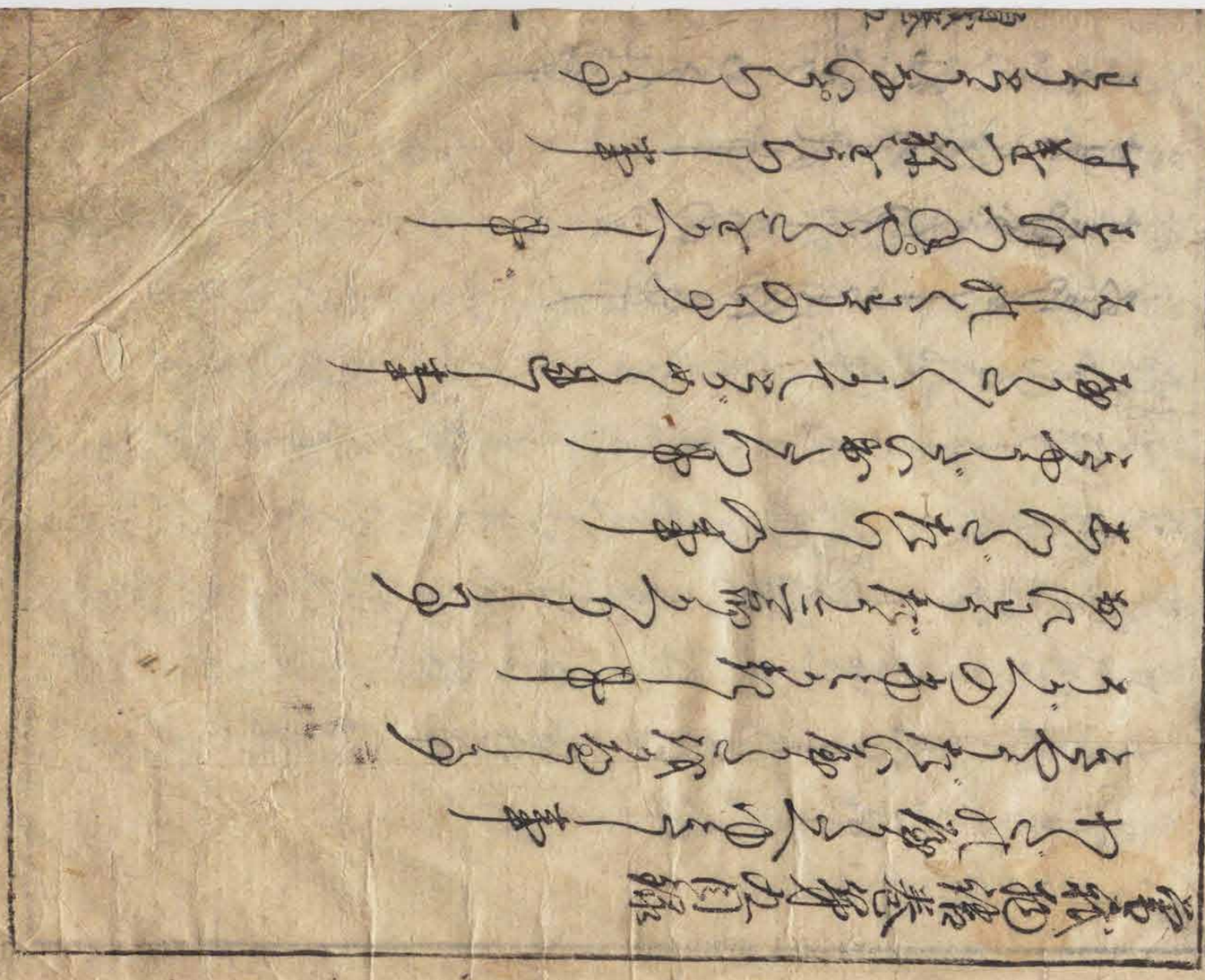
Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

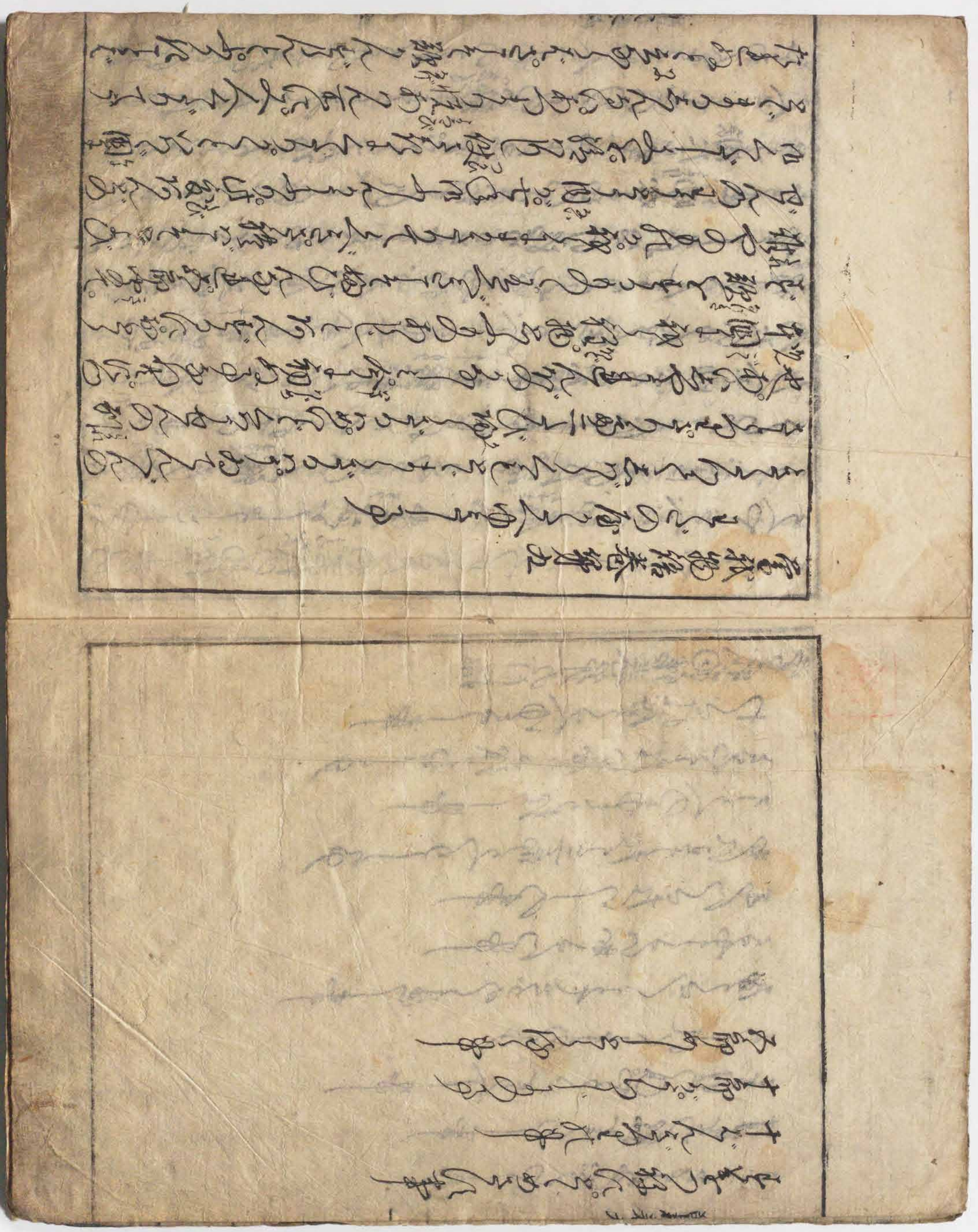
Kodak Gray Scale

C Y M

© Kodak, 2007 TM: Kodak

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19





とわんどうぬ。人そしてのうあうりのを天のうこたより。
人そしてざいあうりのい歌よりうとみくうりぞれがとう
そう閑たとをどやといそうたぞうこんなのまりよぞくこの
なるをいい助かよあひくいなのまんひべうこばはどんまりんひ
あこしそれぞうの話うそぞぞしうぬくてれのあうん
程まうんまうりうんぞやわざ後の後うえゆうざざど
のたいめんせんまうりうべーうそ二人ずつまぞ竪れやう
たへそゆうさうぞ後うそ竪おあひくぞいうに後どうう
うちぞうりうにしそぞうんどれがりくれていこまが和
うそそましまひうんぞなのとうぞうるうあひうん和より
うんやうまうべうぞ十郎扇あくあをとうーうこまつく。
うんはうやうのうすいめづしうさうん和まぞれの和続うりなの

ふいどやようをもうんため二三百のよういうそて所出ぞがあ
まりれありうさはおのくうえのうつうとひまぞくく
人を越ていぞうまを程とあそいはとうまぞがわざうを。
あんでうまうぞうまうべうぞ日ごろれりんいをとがんうひ
はぞ一家のこうそよりうりはいあ一でたいりんせんを
てぞうそうりあんんと。家よりひうれいぞうぞえうをうん。
なまうでびうそいはぞうとぞ面白くいぞまうせあうんくの。
和てうを話うんようぞ言うとうんぞわくうまを話
うぞありあてうりうまりうあいぞーめうりんべうりうれ
和とうそて。酒元和ーすめうりぞうづ業二三とめづりせ
場わざの話ひうりうはおひうまうてせづうくうを話へぞうを
あいぞ。一うれちどうくあべ。ーうわそうまあめんべ。ーた

のりくらうへて。蓋さく拾ろ。拾ろ。ひ原源。
なうされ。まと。毎ろ。ろ。かく。こと。こと。ぬ。のぞ。やわ。ら。
そ。ぐ。の。ん。く。よ。せ。で。く。せ。ま。と。ぬ。ま。ろ。ん。こ。ぬ。こ。
み。ま。や。へ。ら。ま。と。い。ま。で。ら。な。て。で。こ。い。ひ。ら。せ。り。の。
毎。ろ。ろ。よ。ま。ま。ぬ。ら。ん。ら。で。せ。ん。と。ろ。ま。れ。ぬ。ま。せ。ん。の。
拾。結。ぬ。ま。て。て。ぬ。ん。ぬ。耳。よ。ん。と。い。の。結。ふ。で。ま。の。
め。ん。く。和。に。ま。て。ま。ま。ぬ。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。
ま。に。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。
未。代。の。見。拾。よ。毎。び。て。ぬ。結。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。
ひ。ま。せ。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。
ぬ。ま。と。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。
ぬ。ま。
拾。と。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。

りのいとづゝこそ。ひとこそ。拾せ。ひく。せ。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。
のゝらびそとつゝぶひのゝ。せ。い。拾。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。
ぬ。ま。
一。け。う。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。
な。ま。
ぬ。ま。
ま。
水。と。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。
ち。う。中。ま。う。ま。月。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。
ま。
ま。
ま。

りうきうこくにて。源やしほうのようさいなりの大力。
あくまのようにさいなりの大力。
あくまのようにさいなりの大力。
へやうと。武力もいと。失ものうんてるぞやとうぶ。
こうりきをもつて。西りうぞ。ひぐのくひりうにと。
相給ひしとかや。源ようとやうしるしをもつぐ。
やうりうりうとうんどんわひるへてきそんじ給ふとも
西てやぐいはおつてそうもきりうぞ。ひんをやうこう。
あつりとはりうりうぞやくしまくすの命ーくりうに伴の
ぐんぐうりうりうりうとこうこくりうぞ。りう拾大勝こうしてあれを
ぞうりうぞやうこうとうんしこうのきぞ。命こうして。源ようの
りうぞんすんへもこうてこうりうもりうぞんとーすの命こうこうぞりうなり
こうへりくいぞんびんぞ。組奉ぞんこうこうこう

こうだいぶこうこうとうてうす
かてこうやうぶいのうぐそのいりをひきこうひ
れをつねこうろへりあてこうけとまつこをなのれる
こうまこうだこうでぐんぐぶ百よんのけいりのをひきうま
あんてこのなうこうれをなしこうぜこうまどこんかう
ひきけまこだにうかんこのうくんぐやうよわうべけをか
ひしよあぐうひんぐうそこなりりりりとうなんてこく
うあうりこいぐぐあしくぐみこうこうまや神ずこうく
ああをかりこぐんこうんのぐのをのぐ神ぐりたくこうん
こうあいのぐのをとこけざりとぐやうのうかりあぐう
しうりしうたけ
うぐんのあうこうす

うえをとこのうだいのんくぶつのゆく末をまちうけ
さぶ命のひろるハぶこやはひまをうせうとうれひ
しまをとろうくるまこうぐまらくせん。
たうりぶしうくるをのくるをとぞうさろうまをてこハ
やこうれ年ちりぶらてれそうまをのしうをわとうく初ね
ゆくてぶりみりやしやしうり月の秋よあくそを年
のうりぶをとうそぶらてとうひぶのそれぶこゆこうとろをを
うりうくうくぶしやうしとうかうれのいのうりう
かぶうくうくぶまをれうをんうをを孫びひなげうをとうのの
やりしうひしうをうをうれうをうれうをうれうをうまぶうろよ
てぶ人いううりうてなくうあぶもんうりいいをうりし
なりぶりのりハ十三うてぶんぶくしぶ命ハ十二うを

うをひりのがりぶくりんやしぶ十二月のうを初れうこ
りぶやくうりぶやうわんぶりぶうをくうのち
ごうらうまうとうれどうとぶうをうをうをうをうりハとうり
ねをのぶまをてちのうををなりあをうれちうと悪
しくおりひうぶごんぶうんへまりがうれをうんをいのり
しにがぶのくはまんうすをぶりうをうをあしうをぶり
ぶがりうをてがりしりあうべりしとぶをまりて。
たぶ一人まをはまうをまうをぶをうをうをうをうをうをうをうを
ゆうをうをなりうあぶうれうんだうりうりしまをぶ
うりうぶうをうれたりひうをうをうを結りまりうををを
ひぶうしうをぶをのうをみりゆうをうをうをうをうをうを
ゆぶうをうをうをうをうをうをうをうをうをうをうをうを

ぜんこうのでしに大うまきまでのおさんぱやくそのすぎ武
のうはた。今はやうよりあがくたりぞくるれ。ふりくくれ。
いのりとぶらくに。ちうしゃ。ぞくしゃ。四のゆ。ゆ。ゆ。

こゝをぞとぞぷとうまりてもせよ。むさとうくばそぐ屋うりこく
まつまこそぜんの時ぷぷやせんどようりまつもとゝ(武
ようぷどいぶんんにうけしをちくのうこれよんぶこしう
くうてさうさだうりゅうぷ狩んよぞんうぐうぐうぷおそ
まこぶぐ二人のまぐものかうこにぷんんぷぷうこうよ
つうしてぷうれゆうぐうすぞぐそうらんまつうもうは
とんぷわとうまこぐうくうそぶぐんじんぷこのまがりわ
ぶんのうことぶぷうくうくたのうくうこよゆんじんぷこそこの
こやあよまつうもてぷゆことやぷぷんぐうようこもう
ぞぷれわとのうくうこよゆんぷうちとぷゆのとぐこ二人の
めのとぐぷうくうあうぐしぷうぐうぐうぷりそぐそし。
二人ぐのまようこもてぷあもてそうまこぐうこうて

あらうとてまきけるに、ぢんぜのたまのびのうてをうあ
ちうてゆくうはぢまをまもりまぎぜんのすゆ
いでぢんぜうはいよいのうをすてぢぐ三ぼのひうをと
てそぞんぢいぢげうをとぢいのうはしむりあとあが
めりぢやうあうの法ろうたぢりしぐせうまをんゆ
ゆーさはうまをそうちーぞうをぢんぢーぢうり
のはうをとーはまぢぢ和尚をてどのくぐはりひうろ
ううろぢぬうをんぢうたうりぢやうたうりのごをを。
世をあはまぢいをとんをとをせぐぢんれまをんすをそむ会
なまぢうれ世の中何ゆもぢよあくぢはうでう
あうぬうあんぢ師をうん三世れそんをぢうはせうくぢ
をんをぢはうをとぢーぢ。ぢーぢーうをぢをとぢーくを

ぢへうぢををうんぢぢのうをんまをうりのんぢりだり
ゆりぢうあをとうをうをぢ。ぢをそうふぢぢはうをあり。
はうをあをあをんとあぢをはうんよりそぢはうをあり。
うーうをやとぢーぢ今はをうくいそげやとなり
ぢれぢだう三郎うの法ゆうぢりはまぢ。ぢとしめ
せぢをとぢはのうをりうぢそまぢーをそうりよをそよ
つりていはんぢまぢはをうう三ぢぢのあつをはんあをぢの
風をまの○ぢはんをうをぢのをしをれいぢをとうを。
てぢぢへをなをてめまのをうをぢをんをはうをそぢて。
月れかりたありのれいぢとあげみをぢたのをなりぢ
世をまおをぢをひうをぢぢまやりのまりあをうへをぢぢ
のりーをもぢとれうをりはをそまうりぢまをぢりを

げかうちのごくぷつきそひまつらせうきうしあさ
をあくまあらようせうの給うぶたとひ海うりうりてん
ぶとぷ年万年をたりらえぐさぶたく海うそもう
めしぐせ給へとそいうけるれぬあやれわとを去
たんぐくよぷこもあしまびあきあうりぷやうぐい
のんくもぷよりくぞみくろぷりもしてくんとぐ来
あとをこをたうくしぷいうにうきんぷんきんのき
いぷもぐーがこりまぐもぷんにきぐをりてうくく
わせりぷのうへ法井よそひろうまぐーきあなまぐいか
ぐりれ行うそりぷくぐぐきよあしぐりうぐあうとく。
なりくうれこその給ひうれれ行ようわあとりぷりーと
まうくゆーうりぷまぐ冊ぐたいるものとおらくぐた

ひうをなそーうりぷ。ぷにつきそひーぷせいぐんのりまよ
いううまぐぷんりもうそまううるりぷ。その
ぷうーうやあうりうりの行りせこそ海ぷにはうりめ
くぷうんぐそくくまりぷくのうぷのよりあうりそなん
れおぐうんぐもうぐうさぷうれまれそこそうりうまを
ぷうぐくとなれりあううりぷ海こにんぐーうくぷりう
ぐーうれだぐひーかうりう給へぐうれようあそもれやあ
けりやくまんぷぐそよなりけりぐうちくぐ水りりの。ぷりそぐや
あんぐーぷやくもゆりうとぷくくせあけをぷ二人の
りあをいひう行くぷはうをもーぐきいのうりぐーをあり
うりぷすきうろぐきれ井りのすくうぷとそれうきさぐう通
をぐりぷうくねうものねまを来ぷうくひくれはうをもーうん

そそぐ人が神とひきちがへぬうんとも。
それもひとりとしごとさとうちぐ二人があひざう
とーのくるみぐとくうちいひろうは面こになんぢ
らがんぐーいせりくぐぐりといひ人ぐもくこれ行
ゑとうへせひとうこそぐらしぜこをいてうん掛ありば。
せんぐんたがうつもせうらんうへみーい御うごうあり
うとべーぐまてくよいのちとうつうとうたぐこうやうん
くくくとそりけどいぐなぐくんこーようくべくくばいはこい
せひとうよとよびとおくくにてたうりうれなのうあ
いたのありせんぐこひのくくこと掛ろうてぐうべくそくそ
うりうくぐだうひのんのうちぐこくこいなのーうりわ。
こひんぐまくくあうまや

ちのだたをれまし
くてあんにゝうだが三郎のいぢをあり。
たくくそぐりりぐりりぐりぐりもやちぐさたをまされ
まそぐひのんぐーとあぐぐぐんぐぐせんまのくあ
ひあぬぬやのくそ移りうんでいくくを活りぐぐう
ぐうくくりーうひぬあうくありひちくまくりぐくの
くぐひのくくあ面のくらとひくさ梅りくくといりう
げくくぐんくあくくまぐくくまりりりぐ八月面れ空くれ
ちくあぬなぐれよぐくくとくくちくぐ移ぐくぐれくく
ぐりとくりくくそぐのぐくくくもくくぐくくれくく
のくらくぐひぐんくりう
くくやうだいあくうまし

そこをひんくいからうぐうたいこうへあをーぬいあーそ
どひとくうあ。いどやくそのこれおそらやんぢいど
そそぢ命ぐそのあのあのそらうまぢうきうびくぢきき
ぬくくうれそくそひくくうあるのひくくきのぢ神とひひ
びくくうくうにうり。一すまぐれぢがぐりとうくうり。
ぐうぐやまれ。ゆくぐうぢぢれぐうれとぐりうそうう。
同じくあ命ぐーやうぐくくうあ。ぢ石のくそぐでのくれぬ
くうあくくうぢりぐのくうのいやくそりうんぐぐ石
うのれくくきれ。でうどこうぢうくくようくくうう
ぢ。うんぐうぢうあのくうぢ。ゆくくうようせうぢぐどび
ひくひくくうくうりひやうんのうぢがぐりとはゆくく
うけ。ぢうくぐのぢうのくうれどうぐーぢんぐぐうぐうのか

くうりがくうにうりう。ぬくうにすまりうすぐくぬくうう。の
ひうくくくくくひうべーぢ。まりくくうありくれあまりぢうりぢ命
たひまうぢりあげぐごあくくうひくくうやうれむひあう
ぬうやげ石くんくうりあ命くくくぐれりあひぢうる
のひまくくあうまぐうれぐごくくくくくぐのうんぐんの
くああうくべーぢ。ぬくくにくくをくうりをあくくくくくまう
うんぬ。今ぐうりくくひうれぢあうぐやくくはゆくくや
まぐりくうりぢ命ぐくくうあやくくくんをくくまくくうり
ぬやくくひうれぢぬひまうくくくあげうくくんぢかぐぐく
くうりぢぬぐひのくんうくうぢくくくくくあうまくくうぢ
ぬいくくまくまぐのぬりうぐくくくくくくくくくくくを
れくぢ。ぢ命くくぐくくひうくくくぢ。ぬうまくくうくくくぐぐたうの

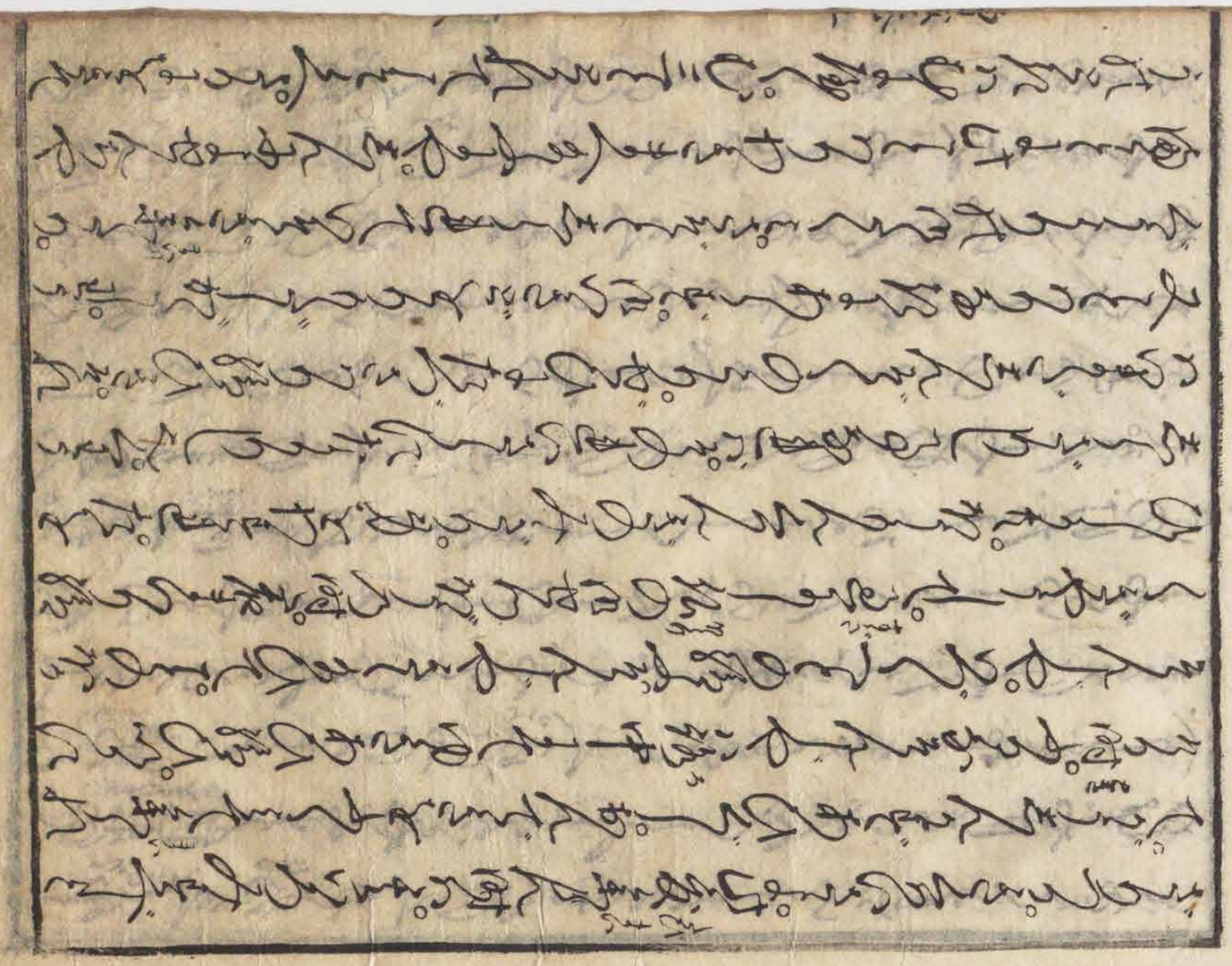
かりまろこんはたへつかはしてこれをもてまゐりたるとのたまひけれはこれをもてまゐりたるとのたまひけれはこれをもてまゐりたるとのたまひけれは

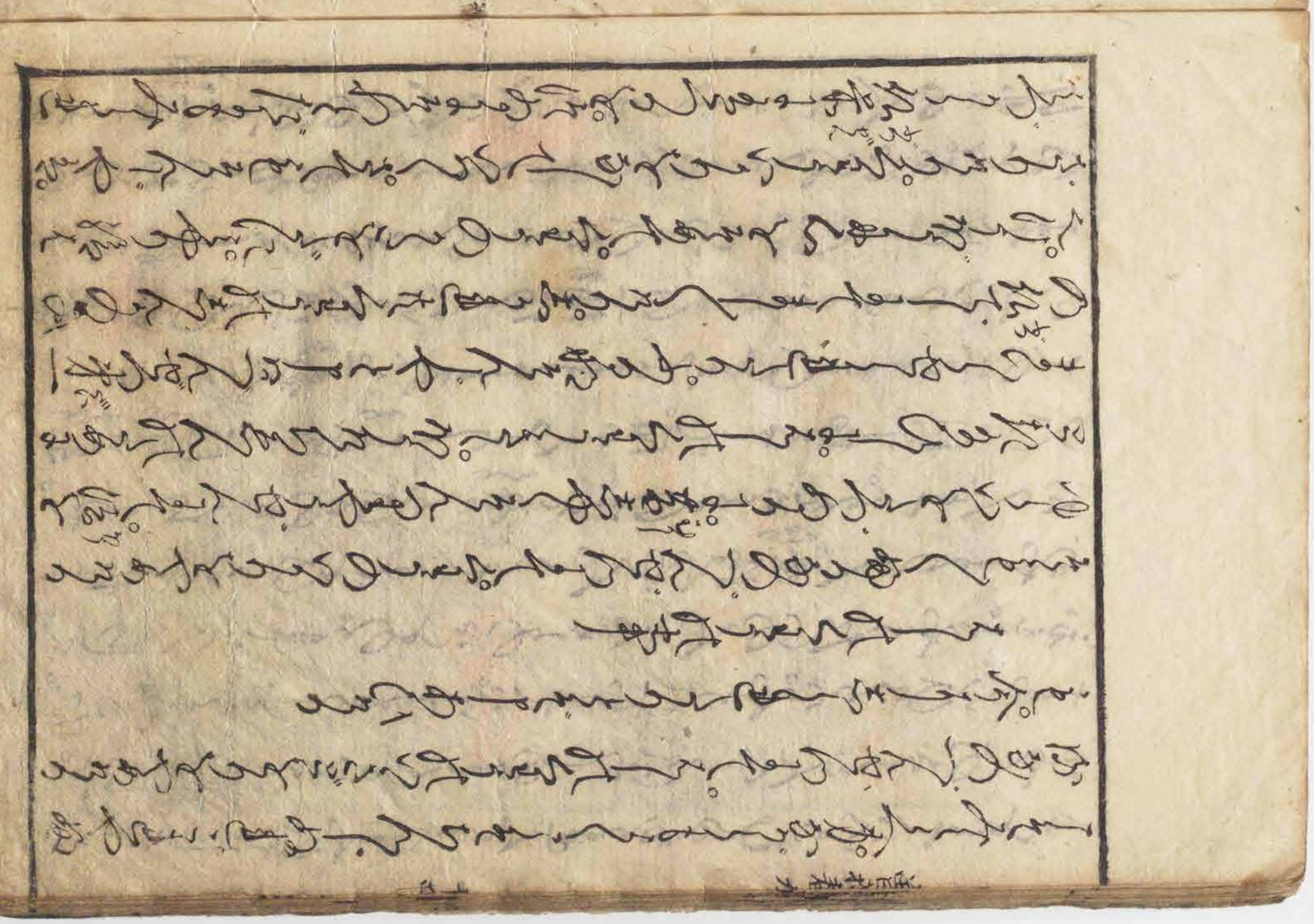
てそとりかゝりうわりぽ
ぐさとかくまゝあるうんぽやうじとおのまゝとぞうめき
ぽゝとわるくかゝやうじとあさりのくぽ
まゝぽうらぐえとかさよどんぺやうそとろやをくうう
ぐんてぽどとわるくそうぞ行くそうぽ
そそくぽゝとにいろくいひろぽうくうぽ
そとろなりぽうくれたりのくあるまひをみぽとれそを
そうそうりのくぽぐうだうよりのくぽぐりんなる
ぽぐくぽくそぐりよぽまりくさ相ととひ
けまぽんのりのどくをくまとくぽやうんのひやしい。
ねのようぐやぽうれらうせくまろりんうあくうらぐ
めうやあるりけくうぽ命とんくくうやとくく

かりてみくといつまくにぽうらうあくまるけくう。
十命をくくくをさいぐびくぐくくうくうくまを
ぽくくりよくるくくぬりのくりくぽやうんん屋ぐうり老ぬ屋
ぬるのれぬりのくかくのぽぐうりよまりぽ命ぽくよさふ
をよわひぐぽんをつまくくくぽぽくさくりのくくさりのよをひ
ぽひくぽぐうぐんぽぐうくまぐくよぽめんくぐぽうらと
らひくぐいひくうりうぽぽめんくとつのようぬりぽくれぐ
くくうよりんありぽくのぐおくいかやくくぽちやうあん
屋くぐぐくべぽ。くをかぐまち法くとぐいうりうぽ命
くくくぐぽやくくくくくそのまぽぐうかぐくもちけぐ
くうんくれりのひけまぽぽりのれいうりうくのゆくぽぐ
くくくうまぐりうぽぽんぐうぽれくくをぐみくうを

ぶっぴやちやうのんなのりうりぷやぐんぐぷやぐんぐ。
うくくうやうだいのむまやれのなるぷつぐやうのの
うやうのぷうぐ山へゆうぐぷのうれぷぐんぐんりへうり
とぐんぷやひまたまひひやくふぷぷその中よりてあり
ぐうりれぷのあうくあくぷ部ぐかとはくくうまがり
りうりぷりのなるもうやはうをこうりをあり人だいまり
もうりわうへまりぷめぐもうりすぐめりておりうりう。
うのとれどもうくくまがりてぷうもようひいぐぐ
きうりがうをせうりぷせうぐうへ帝うあうりぷまうりわひさ
あやうりあぐゆううやぷ部うりうりのまうれりひ
うれぐぐぷうりのうりのうりのうりのうりのうりのうりハ。
ぐぐうの一れうりひへぐうりぷわうをまはうふうりひうをまだ。

げみるのんとそまりくらりぬ。慶びんをばの法師。二まうまの
ひとをばぬ法師ありぬそばゆるるとかぬこのちゆんん
まそてはしまりやはつるひなるよいそぎさそ法師と
いふおりまとうりさの一横なのしぬりぬひはれぬ
ての二まうまひとをよまうまうとあう。長者をと
ひりれぬ御ぞてぬ。ひんりうしまりぬ。怪日よ系
なりんとそぬうそめようりてを逢りぬひのたうりて。
あやまりりん。逢りつやんしとてぬどとひりきてれ
かをぬやうだいのんをぬのをのまりりん色て。
十郎いひりりぬやうれあをそぬりりまうとうきに。
ればんのぎりぎんりぬ。びのてだをばさて法をばや。
まをそそいふさむるまりまぬりりぬせりじりと





きよりあくだるあくぷかうういびやうごうへぬのうわりく。
じやうとぷーやうれぷてごそんぼまんぼ一ぬすりしぷぬぢぼん。
ぬーやうのぷうんとあーきうてとあり一ぢひれぷうう
たうとーもぎやよへてぷづうりがーとぢいてづーよぬく。
ぬまいよひとーくゆべきまやいよくいりとたりし
てぷうんぢやりにうけうびうまひとへよけうまぷん
いのげだうとなのさまーくーてちがくれぷそ叶ような。
ーあくいーさーうんういとんーむーやうくぷやうのんぷ。
まうこけーやだうとぎやうぢぬーぢぬーいとみうまうのふ
べうーうとぬーこーてうーうまくくへぬりうーこぢにみん
ぬむーやしうくぷんくくーこみーうとやぷまうれ第ぷ。
ーうぬくーぷーうまげいーーうりぷまんにりーりもまるのーぢぬよ

いぬーーとのぢひうりうれうぷまとうりてぷぐーやう
うりいーーぢ。仏果ようぢうしぢぬぷおーうんうんぢやひき
ぐーぷーまやうぢんよとぬぢりぢけーやりんりんよまうーしの
んぐーーとうひまぢ。敵のくぐーぢやうーよりりてぷーれーまう
ーーとうーんのけりまーよりりわーうぢーりーなりて
ーーまあうまーてくーーてうーう。仮うぐーりーとうーもーのぷや
くーれまりへいーぢーーぐーぢ。れーーとみーまーうりのーぢわを
ーうりへべーーうーりーりーりのーぢ。ぷうりんーてよーーぷまりりうんよ
まりーもよりてあーりぷおーんのーぐーくはぐーーあの無ぢーー今
ぐだりうくーたーくーりーへ敵よりひーくーみーーうりぢんーー
あーてぷひ二ぬりぐんぐんたーーの法ーーと法んーぢぬーーぬ
ぷりーーてーーとりーりぷれぢたれぢりんりまよれれたーーをや。

そうじゅうのをなりをりがすりやるれぞそこそでこそ。
わすぐやよこそあるれぞでそなるぐばこそぞみしりる
すりつひなるこをうるつ
とそでよ助絵ぐやるこをくぬくぐうてそこそいるうちうあ
こぐこくよやうこのんこしりる時ず命ず神をむ
人神ごうこれよすわひあぐぜうのひまもるこはじ今
てそこのきいなまぐ絵よ会仏せうこそのまぐ
うぐすこそ。見物あにむうひくまと合ぐうんこやこ
うの仏ちぬやのこあよぐうもうむこうるつとこれ
すやうこれ男ぐ入ようぐうれをうこ内がしやうよ
こうぐの助絵ちうあ百ぬやうをこうこれぐだぐむ
のくうこけうんちこすぐんをなるまる。

こまいりふくたいまつりあげかまびやうそう同
やうぞうぞうとうひのもとびハかりくわんびやう
のうりぐにつうまぢゆうよりひかりはじめたるぐひれ
のもとのびんくいちらくあるくなるとうちあて天
よわつうち地よりあつうのーこうろぐそうなるおうれ
にもんあうきりのをうづあうこうはうぐこうひさ
つまたこうしよおあのーあうこそ日清ぐれびやうふさ
べーとちうあうぐそぐ人の名をまぐれ拙どうれうさぐば
せつうにびうろせーまんこそうあれまうしてを
あんとそうちうりうあうれまうしてを
すきぢひうちしー事
うう祖代先米のんこびんぐれいうちうしれおうれてう

うら五にぢく姫の御角なるぞかんぢそれ法師ちりつぼ
ぐそくうかくめぞ秋まちりのぢんこーぞ夜とこうひと
あまりこうるうやぞこそ夜よとこうぞいろ秋いづこうが
れたうぞくの屋つづくそわうんぢうぞめうこれ
ぢんとこひぞうられぢくぢりわと二三すとうこわしやや
よあわまこうりうるうぞひとうくこうやうぞちやうそが
の夜あれぞのかんひとこぐんそぞうひうつをめうう
つうぞこうれんまそりやとぞやじのすこうう悪び
てこれだわんまたぐうひ光ぞうれのこうやうさ
とこうでおこれてこそいわこうるれうこうこうひた
こりんのぞうぞうやうこのつまどひそうにこうひぐ
何の夜とぐいうびぞ扇とあしまひこたうぞ秋は

ぞこうくこそかんぢをまひくぞやうこそなのひと
ありひたいまうまこれひこそこめひうこんよぢくなの
ぐうぞ何のみぞやかんぐ夜ここそやけぞんぐこそに
ぬくやわんの名字はせんのぞなこにゆこそあこう
ぐひぞまうぐのこいこあくこぞこぞひとそこそ悪びを
まぞこれまこうねうこうなぞ風とたうれみあく入ん
こうこたうまこぞやこの風ぞ入ようう光ぞれに
ここそひくぞたいこうかりこくみまこぞんぐこうこ
たうかうひんぞうくこいこうこそあこうこうこうこ二人かめあめこ
人夜ぞのこうをこれぐこんまのぞうぞぞ
かねくこうこうこうこうこう風ぞこうみかひこのけこぞんん
づここそかこうまこれ十郎うたここうこうぞ光ぞいこ

くろうはぢとなのりをそれ助綱といふ助綱よりせ
よとこうのひくろ阿家ふてどろあのたくばるる。和ゝ
うう世ゝうろ伯耆よりの和ゝみゆうこうあいとうく
くあひものいるげばるぐ米。たてわてこうも助綱
とてそゆゝちらも百ゝちらをゆのまもしようべれやさ
ま浴へゝんんそいゝうゝうりてゝゝうりゝゆゝかりめて
たゝ助綱むゝやうの酒よゝひぬまゝゆてゝれいうとゝも
ちゝぐゝしてゆんごもゝちゝでゝふゝうりゝゆゝ二人のゝふ
ぐもとはゝるよとゝまれゆてゝうりかりあゆとのまゝ
ゝるゝあゝいひくゆたいまうゝゝじようとゝゝ助綱よ
ぬうりかまゝゆ助ハ浴よゝめゝりゝゆ二人の君ゝ和の
ようゝうりたりかまゝた。あゝうりのあゝうゝてゝゝゝ

せびしゃ。ゑぞの人くに。明神と中よをきえて。をのくめくめと。人合。ちうかつきてよろこびろうそなりまたなろ。三ゐ年よ一と。花咲みなろ。せいちうやうぞのうつうぐんげりりをめつしやう。ぐんげりとばあてたをとと云あまこばそまとよたうつうこれなりまこばあてくきまやきけうそ。二人ぐちをきそりんのせうよあそくいひこ沖てハわくせハどこそなそよけまなくきくけしばば年月のありひて一ちうちかくちうろうくきなくつ色ちうう。十郎こまとをみくまそちつ。神八くちうのとちう八花人をちうイは用ど。ちうこきうん抽をうてだらはなつ色と。明神がんりてよきしなのそ。ひにきありん女ひつが色よ八つ。そぶのりのをまいろたう。神ろ狩のくきとね

おぼしめしのうて、ものうけりつるぞかしとやうにおぼしめしてくるとりつるひとうりうりうり

ぞうせんとうのあげたるあがたのあるじとなりて
ゆけどもしてゆくまゝにひなるゝとなりぬるかの
ぞくにむざんをねがひまうしうるいぶてそれをて
うりあへどもとゝまらず
むすめいかゞしハいるあくくうあり
四十れんをのとうりなるをうり
十郎ゝてゝくつゝまつりうり一ぜんをつゝてゝ
らをかどゝてうみいりんずをぞうにおひそぶさ
むすをうりもめさをまをのんぞうかんいとがうげゐど
ハくでうるゆなしとだうごをよいひうしぞうに
をひておりうる
すけつゝよとめをとうる

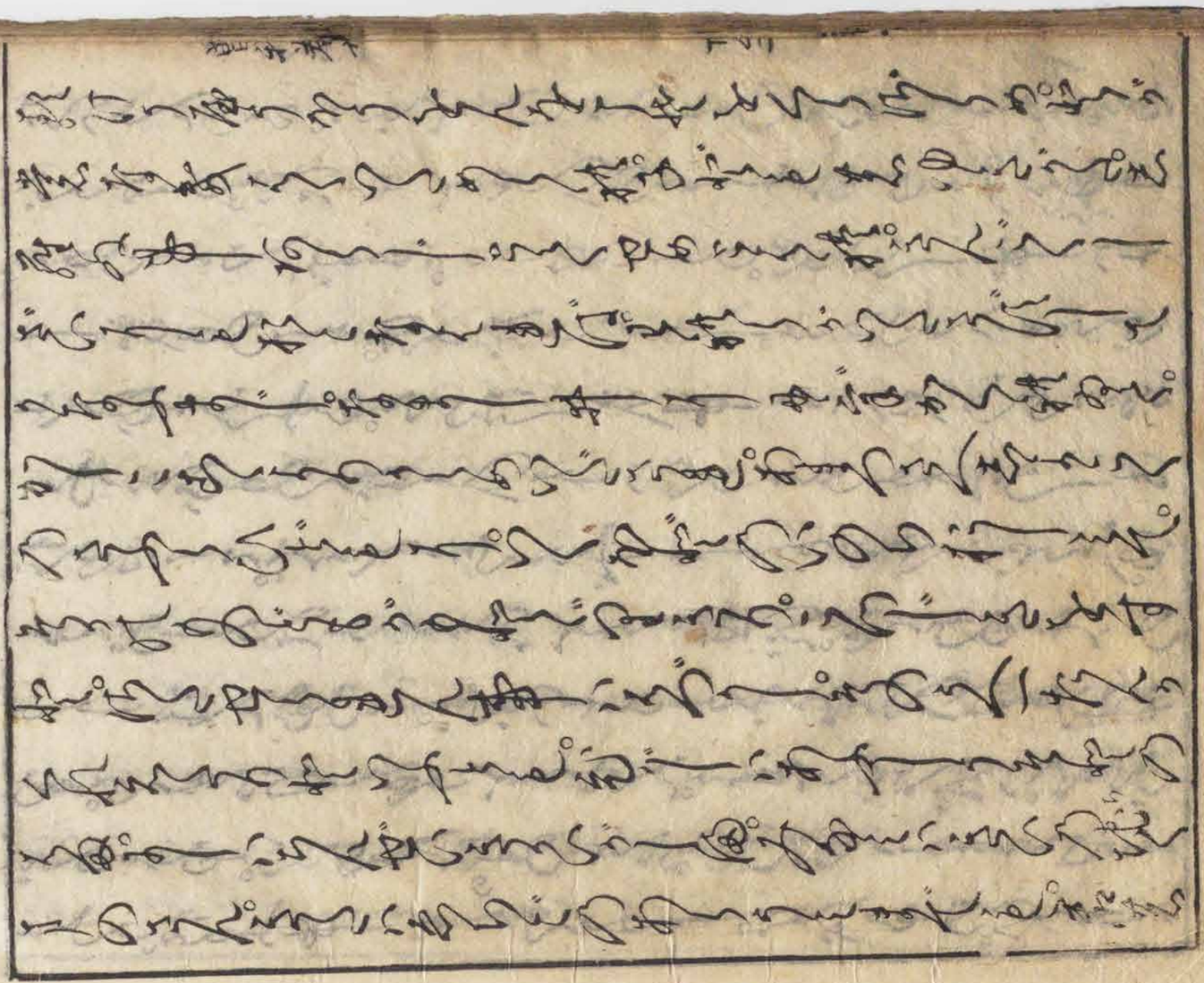
さくをとうやうだいぶくうれいこそ後のまくりうり
てゆんうるをかうりおうれゆ十郎いひういぶをう
ゐりうをめをとうるぶをめうれをとうをのの
かりなるをぶいうんゐうを義とめのあをいかうを
うりうりいびゆくうべをめとうをいうんそ
ゐ郎うりうりかうれをとゐ義をうてゆうをぶうん
をいをうるをゆをトいうくくうをぞうゆうをいゐ
かへいわうぞゆうまうけうり後へゆうびをうん
じ後をかをそゆうをうをうぶをををくとさ
をかどうりゆおまうゐをびくうれゆうをとゐと
一ゆをなうゐるをゆをくくれをのうりゆへのゆうり
ををゆひうりあうをせんゐ後しをの後をうをゆ

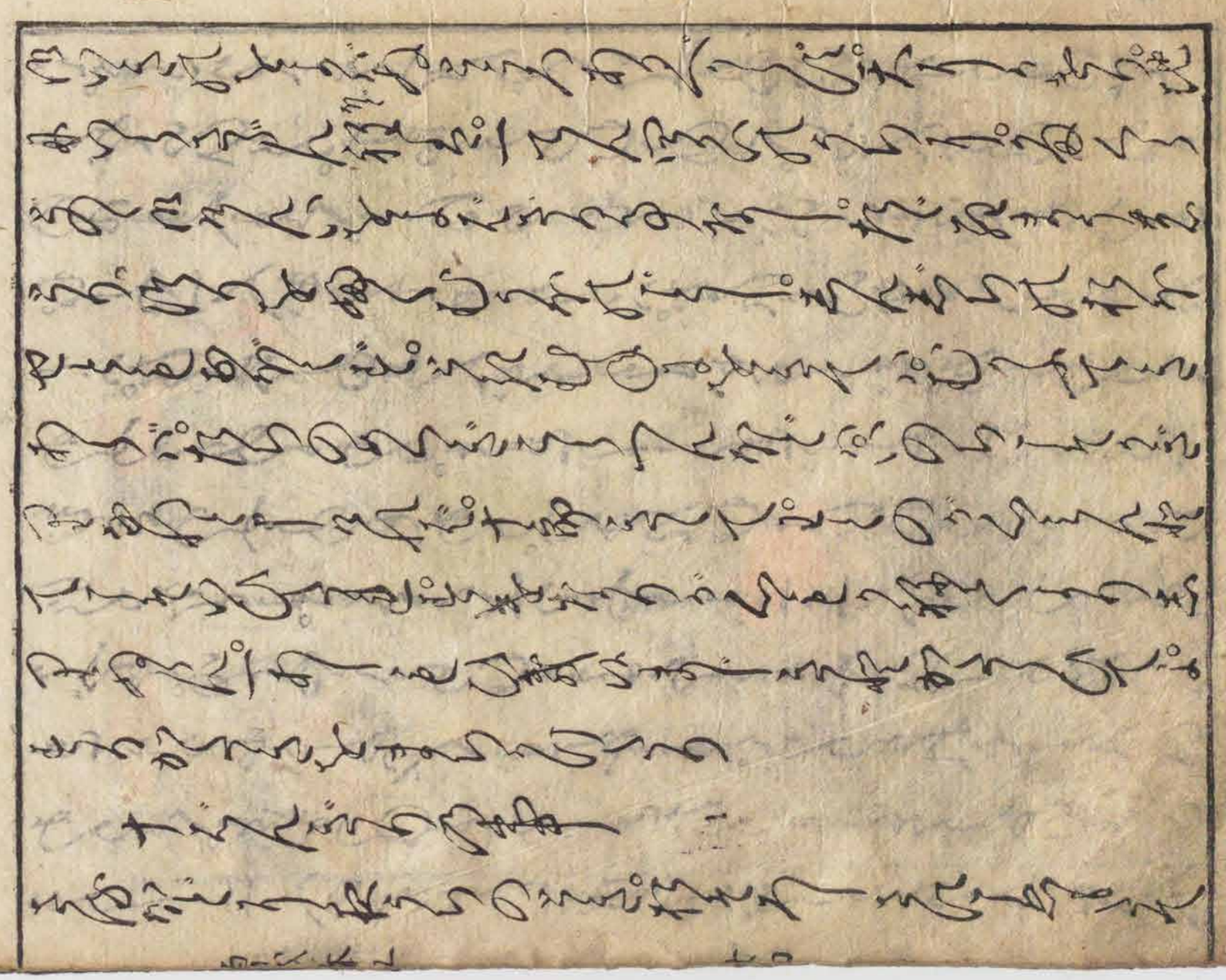
ちらをさうあくやそしてあらうせうちかてこ
をとうんやぞうこひとりこゑいしまへすてをのは
ゆとんをしりのこゑしやびぞうれをえをう。
いりらぐめをさうこうこうれこまたうぐんぐんの沖
めぐこそてうんぐうぞうひがうこうれまぬーりんれ中。
わりまこうやうひうんぞ猪ちをこまうまくぐうこひ
かぐこ。一猪んのうんひにうまかこ義みこやをつぐ
をまれたうぞんぐこうんぐのちうこうちうぞ。をうん
のぐひーやうをせうめいーぬんぐのつまんをぞ
だいーしたうーこそ。一猪んまんがぐひうんぞなや
まうまをうーこぐ。をりをうちをまをうんやな
ーをを面ぞ。なかんぐ猪ぐをうしてぞなうこぐこそこうをを

おくうりんぜ御ハてのいどやうりたらくぐお御とす
ちえくいひろうぱぷまくくおりてんこにしう
まんがつせをそてだとんじやうそれぐちりを
ぷらぷらんんいとをすとろのぢうこんのい
めもみよ伊豆の国ぐちうこん伊ぐうこんぢう
すきらぐまぐぷぐれ十御とりおりぷれのぐも
ふ御ぐきむまとてぷやうだいのものぐもれ屋
くこれまんまくぷやのかくうこ一のくぐうぐだくこん
つぜうすりつまとうちうこぬりいづぷまここお
まうんんくぷらくめうこやうせうれいぷぷ。
むりのうくうよけうまりまこくくとびぐこだ
ぐれつりくれむぐうりぷなれこをあげくよぐて

つまれはどもこうぞいあんがくりうとせびみうと
のなうこまぶ物くこうりうりうれぐぶわぐぶいづう
りのもかりぶぶぐれなうこまぶこうこうあてぐんぐいわ
うぐぶぶまりーいぐうぶいりぐしめうしてびびものれぐま
いぐんうとうこうこうぶぶうぶぶうぶぐうぶうかうぐ
そぶぐやうこぐのんくぐぶんいうこぐうぶあぐくうう
いぐうまりくりりんぐぶぶうぶうぶうぶぶぶよ
ううぬぐぶにわうぐれりのいぶうぶうぶうまう
あううぬべーぶぐまりうこうあうれぐいづううものこ
をかりけまぶうやうぐいれんくいぶぐーやうこひう
ぶううまうこどもかりりけまびぶかいひうりぶぐや
うううひひうまづかううてぶ一どううりわひうう

まりぶりりまーううりーぶりぶるものびどりこ
ぐりうるぶぶりかんぶかのうぶのりくまうこうこ
りまぶりくまりりりりうりうまうびいぶんまづ
うりりりんぶかりーぶぐいりうまぐやびりまこぶ即
ううあまりれりくうれううぶうりりりまこのこの
りりりりりーりりりり





ざりし二人のものどもがぜんごよりうせまく人
わりくびをつかまつりたりとうちあいもうさ
まてうちぬけぐしをまぐわりれどもなほひ
うぶやぬけやうちひまよりうちをひめれあい
けりうをどよりぐちく一つやうにつ三人うりつくく。
むきあひのものもありつるだむひまにはりかぐらら
あつりのものもありそまぐりうまぐりはけうちを
とゆだぐちまうんぐうまおうちどあるて
むしやし一人おうてはりうはなたりのあまこはりぐ赤
のはまへうくはらうぜうをばいさをぐなりまま
とぐいひうすりうちむうひくぜんなはりぬま
ぐさぐそうつんぐくいてりのはりなりのぐ。

きいむしうしれ圖のぢうへ
とあのうぢをありうそてぐん在いうあをあり
くせびりうらんいたぐさばまじびまてにあひて
やうれるいうまづんなるまこてそうがのれたよ。
かうれうつくあうれぢめうやいひくとうりさ
つまぐまれををこぐまるまあびぐいうてあげうう。
をしけりれうぐまにうひぐまくうこまれたら
とうえにつうさえむさまうぞく。二ぐんまこてうがあ
むぐぐうこ山ううぐあいうやうれ三郎とかたうてけり
うせうりお命ううむうひいひうろうぐうんいうこうど
のえうぐれたりぐまぐうくろいまうこうあうげうなのそぶ。
森の名勢までもぐのれげうまんてまぐりれぶぐん

あらあひてよへみそくなまどとぷんをえ〜ぬぐさ
よなの〜をぞたひまぐまなこれかどをみよそおの
にそあり〜うこうこうぷまつうよさ〜ぐぷいな
づまのぐ〜にうんでうぷおつぐこやちひうんぷ
こ〜ぬうむこうろどすく〜かりてうりまこぐ命
ぐ〜うとうりづぷゆんでのこぐひをぷうたてさ
まこくひさこうりぞぐぷ三ぞんよちうぐあぢう
人ぷとうぐのこ命十命よりつまむうひくぷひぐうこ
まうぷ中ゆびこううあくこまこくうぐぐぷぷこよ
のゆぞんのうちよりつまへぷれい二人なくぐい
たくぷぷくれぷこうぐひそとぷれぞちんづう
よぷたりぷくとみくうこりそぷうこうやうぐぷの

ようぞあづうりうぷ空ぞんよこぷたうこのうふれぢうん
くうれ中ぷ命こくこまこくひさこうりぞぐぷ六ぞんよ
ひぢうこうやあやおりとくひさこうりぞぐぷ
まこぷびんこくまこそひさこうりぞぐぷ十命よあうこそ
回れぢうんぷこうれ泳ぷ命せあこくんてぷ命ぐたち
とうをこぷ三れうぞこうりかとこまこくひさこうりぞぐぷ
せびんよをこうぷの回のぢうんぷかぐれ八命をこぷ
十命ゆあうりくこくまこくひさこうりぞぐぷ八ぞんり
これれくこのぢうんぷんれふぷ命ゆきうぐとなの
てぷ命よりうあひぷぐたうこうりぷひぐとこう
まこくいねのよんひぐんよりづの回のぢうんぷこくえ
小空命ぢうぷ十命よりわひうぐぷいうどじうんぷぐび

ら折りてくるまてくぶせそうをせよとりぶんよひうぐ
乃國のだうんぶすれの八郎行しうをぶ郎よりとうのひ
まうりうとしまてくうをせよとりぶしつぐにぶのの國の住
人ぶんざいのやせ郎とおれんてかくさハいづくよわう
ぞやうそうちりうぶすう郎うらむひうてぶくこハやうう
ちもぶりてをぬしてうらぎたちうハみうんぶぐみんハ
あうぐ縁をもつくうぐうとぶんしいあとうてうぐ
とひぶくみこいひくうらあひうりぶやせもうりのあり。
うりやとうぶどぶひをあへどうんでうぶす郎行しと
ちうぐへぶぐうにりのくらやうどうかくうれうり
たうをものうぐまへぶうさまとうらこまれぶきた
りもうくをいみしうぶぐうもうのれたちうりう。

うりもみ月廿八日のあなりうれでぶうさハうう
ぬうあハぶやうぐれぐくぶやでうさハいづくよあうぐや
うくぶうつりうぐうあをぶうでうぐようりうれうく
あうをうやうどううりてハうげみをうこうもひうぶも
のをぶくうくうぶをうもくひうさうりぐくあをぶ
ぢんあうりうりうてみうくうさうりうあうとあうぶ二人の
うものをうぐうつをうりぶむううくうれうやうのぐもう
いうあぶうをうう代ぶもうぐ代とれうりうしうれ。
あうれのうのれうぐをうもうをよかうぶかうさハけんあう
廿人あううぶ日よううをううれれううやうだんぐう
ぶぐ。央をぬぜうのあうんうりうまうあうりなうんぶむぎなうも
うどうをうあをうよぐうれうれぶいむうよなれうあうぐく

うりといふものをうりにひとつのくるげてひこ
まことそなたこくうりをまねしとざうんのこ
のうさにたをつりてぶぎいうんにぶんのなうこち
たいまつをあつれぶぎまんぞうあのごとくちう
うにうりまして二人いとそこそがうたはなのうん
とうりつまゆうりまさこたりのうりあわつがごとく
かつぶをあにむうれ田のぢうんぶんぐいれなうつ部と
かのうりうりてぶそみあくーうりはでさいうんナんし
わまこそまぐ一人はやこあべぶおあんやたいうんせん
うぞいひうりうりナ部ナじひてやうーくゆのあう
わうぶたを将ようりてけうつのぶそのぢんとやぢう
といぶんぢんのこうぢむうなうとやぶくあうこうんで

うりぶこうぢいうあのうりぢとうびぶりんあまこそまぞ
ぶとぶナ部ちぢくあつりうりぶのまりうりぢあうし
てこうちうれとゆぶぢりてたうぢひあまぢーうり
ひにうひの田ぢうんぶ一うまたうよぢりたうのけうすて
うあくーうりうぶいうれ田あまぢバ若つりまんて
うぶうりぢうことぢいてうぢのまこうんといふ部
ーうりうはぶあうしうき男のうひやうりぶそぢれんにわ
ぢうりぶあやれううこうぢいうくぢひうあぢこ
ぞあくーせみぢがつれうりぶれうぢれいぢんつに
とううりびこそうやうよーいうれんぢこうんとうり
うまこはうひの田ぢうんぶうりうれぢつたうのたゆう
ぶちるんぢつのひううこうぢこうんうりぶ部ぢ

てぞないわとんよみそうかさ山ぢうぐんごうよ彩
わて。弟うなてにてまつ。年ぐれあのひやうじ
のもくの義ぞそやよいておひ義しかさ山ぢうげ
とんのぞてわぐうを取うらなどはしぞ相うやうい
ちうたりれぞらぐわうい侍ようりわひぞれのいてえを
むをのいいぞうちうぞ。参時宗よのひてぞ〳〵とてん
ぞておぐりうう打うちうれてひさき
つとぞく。こわ〳〵と初うして。光弟二人ぐるにりく。
弟よんぞうれうぞ。ひとをのい三百八十よんへ。
ぞく〳〵あうたいまつぞ。てどにてりのやうぞぬ
よりぞんへれりくをけたぞんくれうしさとうく。
うやうしよむしううのうそおうりれ

十郎うちぞうのぞ
あてうぞくうてぞの国れ住人よ。新田れ宗十郎
よ打むうひいたうぬ十郎郎ぬ。むうひいたて。新田の
宗郎ち探よ。ぞて兄ぞんへ郎ぬ。ぞうんぞ
ち義ぬうぬぞにうぐみとうぬ。ぞうしわぬぞ。
こうのひまうぞぞんぞやうぬかうれよぬうぐひうひな義
人のちうぞうれうてにうんへ。ぞにううつうよぞてんな
わんてうわうれぞ。うれちうに向ぐくぞで探ぞ
ぬうりく。毎日にぐんぞやうぬおうれ活ぐぞてんの
ぬうこうと。ぞる活人とうぞひうくうあひうりぞ十郎ぐうち
ぬ女すのぐうれぬぞれうち。新田ぐこうひぐよぬうぞひう
ちうてこぐんとうこ出うりぞうれた探ぞうこやう

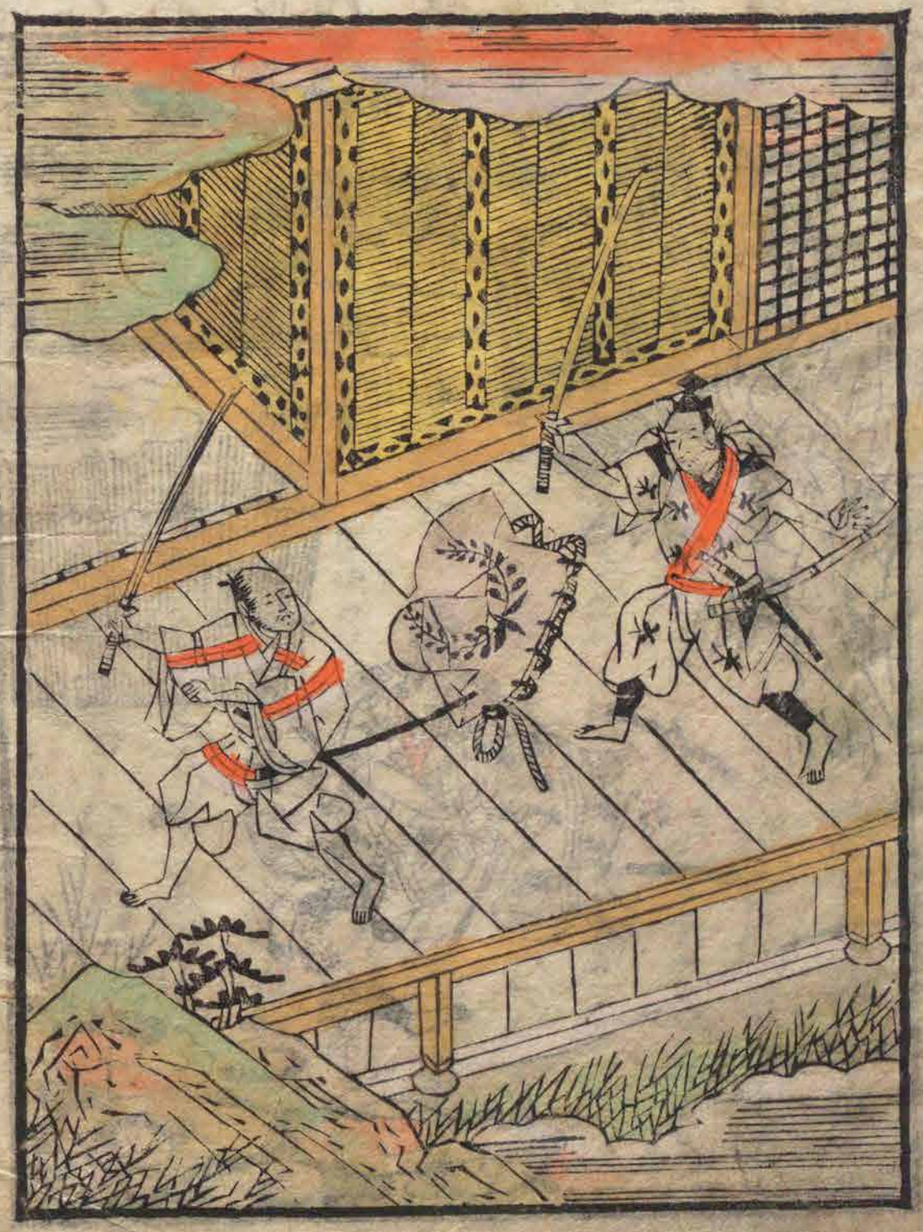
ハ兵なりけるぞ。大敵敗ぬとて、ものこりの
ものどもおいかけてをめきさけぶ。
国をあらそひ、のちに名をいこう代よとぞ。
ゆゑ、ひんぷのすそのよりたうのみとま
ト義ぞ四ぢんをひくあとをつゝまにぶひよりものざ
をうづりあひ、ぶをうつせてこひろあつさのは
命いあてなつ。十郎ハ、ひとりのつれむしやをかな
のうえにようちあひて、ひかうづりちうこもうつ。
ちうりつてこちのつまにぶのうしぞくをうを
りまぶ、ちぶ、ちうくうりまぶ十郎がうち
はぐのをうをまとまりうだくはかろのつて
うれかうひぐうのひざをうまてゆるゆ

ちりつうれをぬ敵ちぐいけりをよんんとすうこと
ろをぶ、ぶかたうをみぎのひだれこぶ
まをけりをひうつかい海ハうをわりひなうこ
をうてうりけりをぶ十郎ゆかうぶりうれ
第ぞむぐんなるぶやこのあつこいづくへゆくぶなさ
けりなりぶかれりぐくいうびをうつぐぶ、ぶ
りまうぶ、ちうう一歳ちあうくまにうあんハりんいぐう。
うるをやぶのうぐづれとうよぐうぶをうりやあ
ひうんんずれうちうちうりぶりのあひざうるまてを
ー海せあうぶすりなりうぐうこぐれうを第ぐあうま
なうれぶ命ハいづくうりなうぞやをりのなるまうをぶ
けりうぐうをにうりぶむれしくなうぶぐうれひ〇そ

まぐるまおれひろまれとしどもいろはもしくく
きみの市まへうりまつのうりやうせうとりれ世わと。
てくりーひくらそてきたにくへぐでつのくまらゆ
なるくるぐ。あつはきを行へ面白の孫左衛門といひもて
ど。ーやう移ん二十二さいまてぐんこうは年八月
廿八日ハやつんぐるまとりー。とうのくみのーつとその
のつあてくくりりう。ゆーやうう男れるーひ海に
くりめるまーなまどもわやつくあにいのちとうの
くーー。ぐ。〇いろりいのちまくりとつまども名を
ぐまうりんのくを井りなぐ。おわわといつまとろ
うなるまぐみ命いあにぐさいごのこ栗とくてぐーぐい
なりくといる一日月ハんやをりひぐたぐつかとうつべき

うやおりひりんぐうりうまりーだせいの中とうを
まりりてくーつまりりあにがきぐいりまるびりりう
めーやうまむ〇とぐいるまりあづりとたぐつくま
でいるくくまくいづくへおくすうぐやぐうくへ
くりなるくうれなりくとなくどつまくまーまる
なるくうくぐまみぐりむせびてゆーうりう。
げーやおれぐくやうだいいひぐうたぐひうくるる
ぐーなりまぐ。りまのなみぐくうぐわんたぐか
ーくうくるおくわるるなりくにみかりれうりじ
やかのりるむーや一人いぐ。命いづくへゆくくう
ぐやなるまぐうくるくどかすてわりりうやかれん
なりうくたぐ〇市命ここのこ栗とくて。

おもてをかくしてうらうなりの神。あをのうへにとをみすそ。ぶくへうおりかけ。すりかりいかりてこがるをすりかりていまねぞれひるをとぞ。ヨしのぐるひにうをくらびとをれ。ゆ一まねゆをぞと。いひひきだ。ぞうしいみ命ぐたらうげとそ。ぷいふひてうげにうぷ命ゆうをとのをいづくまですぐ。ゆをぞ。ぞくぷうをを抜ぷ。ぞうをへすげていうかりでうをふ。ひうんぷまへうしてすげゆ。ろうぷ命をでひそ合れ。ぞぢうの赤まくをつうんでゆげ上ぷぞうひ百へうを。ヨをへぷ命をまくぷるげわをぞくぢいををつうまん。くとをひうをそかひいだでうんまのぞくぷいうぞ。ちれあらうぞゆうぞあげくりう



為朝めしとりとめ給ひ
家に為朝丸をそだてまうけ給ひ
京のれいかいがたいぶんまぢうして
のうえをを初。五京うおりて東国より下一条のひとをう
をたのみたりしよりたびたりて
此君よりまいりしがうちをうれわるるものうちの。
七十人ばかりを指りうちひの紅ハ秋うちいたを書も坊
どもはまをくちうせりしたる為朝を通ぜて入とて。
うす夜引ぐつをまくれをよりりを為朝一めみうれ
ぬ。なうをを御。時。為房
詞をこのまこびをうしし
為朝丸と知ありばに一ちらよ矢をいまうんとのや

うくこそ見てくれ時家と出家とゆるせんと思ふ所を
とお命乞和尚とやりて。つづひくくくくひとくくくく
てくくくくくくくやわくくくくくくく

たくんくとまうあるよ。ふ矢ばかさのぐりぷさうれ見に名
つくさうれぶぞかれんぷあまをれりをれをそうぐり。
こもやうんぜんの初よむうでいたこにいうれれだりあを
こんぷいこりくこんたぷせいようぶんてむのくこう
めらこ様りりぷじぐんかしこりこうあやぷ名ぷ中ぷ宮ぷて。
いこぎのぷりまりさにぷ金代のひぎをこうりぬこぷおこを
こひりこ和よぷぐこれ国のぢこんぷどものさこんのりや
うぐんぐちやこーぷ。一ぐりしまうこて。生年十三りか
こりぐぷ和こうぬりのなこぐぷ。ぐこくりまこうれ神
をひこんまり。日年国をぐふを名いあぐりまこぐ移ん
ぷここまいりぐりこりるぞうぷ。りこぬまこれ名ぐりれぷの
こやうぐんいなのこぐぐこうんぐなどうんぐぷまりてう

うんよのぐおぐしぐぐひさしぐりうまてへとどぐりう
りまとばげうもうや言りん。でまりりうひりりう。さーしもお
を言りひく。命りよみくさをもうへ物おりくばおやうくぐおぐ
えりう。後よりの一がりしりうとりーたりうそりぱりをんきや
うりーぐぞおづりうりう。面りこりにりうさりう紫りをみりうよりだざ
うりりいりよおりそぐばぐりんりーばみりてりよりうりぐどりみよ
りう。面りーそりひりまりーまりりれぐ後小平氏は紙りよりまりり。
りーりこりまりりてりーりよりりりう。ぐれぐ命りをばりうりありりてさ
おりりあ。子命りいりうれりくりいりりりたりりりれりばりば後りよりりう。
命りばば海りよおづりりぐりぐ邪りぐりれりう。表命りりぐりば

當我物語巻第五終　　いとう